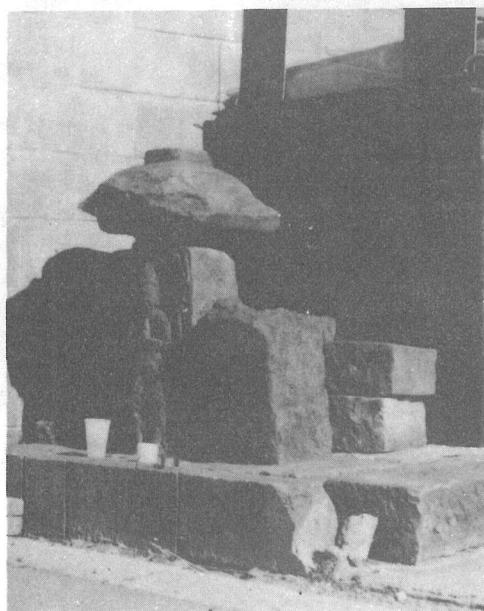


## 広報よこしは

近くの人々は「この道路は今み  
たいに広くはない、本当に狭い路  
道ではあったが、昔から八田や長倉  
方面からの人々が金比羅様にお詣  
りに来るには、この路を通つて來  
た」ということだ。庚申塔や供養塔  
は、もつと国道沿に建つていたが  
路を改修したり、交通が烈しくな  
り庚申様等が壊されでは困るとい  
うこと等から心ある人々が相談し  
てこの場所に移して祭つたもので



▲ 一部が欠けてしまった庚申様

は安永七年（一七七八）のものと  
寛政十二年（一八〇〇）建立のも  
のです。

いる一帯は、金比羅様の門前町として開けた町並です。

金比羅様の正門、といいまして  
も、横芝町寄りの玉垣の辺りから  
金比羅様と反対に入る道路は、松  
尾町八田及び横芝町長倉等の集落  
に通じています。この道路に入る  
とすぐ右側に三基の石像が建つて  
いるのが目に付きます。一基は何  
かの供養塔で、上部が烈しく欠け  
ていて何の供養塔か、また建立の

あるー」と話をしてくれました

庚申様

(その八十九)

四年（一八四三）には長倉の信者がそれぞれ社殿の造営及び改築を行ふ等のことがあって、今日に及んでいる」ということです。

行う等のことがあつて、今田に及んでいる」ということです。

通つて金比羅様に通ずる幻の街道をご紹介したことがあります。その中で、長倉までは、道標や路傍

の庚申様等でそのコースを予測してご紹介申し上げましたが、長倉からのコースについては、何も申

安永七戌戌（つちのえいぬ）年七月、向う側の庚申塔は、青面金剛像の他に寛政十二年庚申（かのえいぬ）

町文化財審議会委員  
小沢春光氏寄稿

ても差支えないと思われてくる

さる)とそれぞれ刻まれています。

◎写真は、一番こちらが、供養塔で、供養塔、清左エ門、四人と刻まれて、ま

卷之三

すか、点線の部分は上部が欠けているので、判読できません。中央の庚申塔は、青面金剛象の他に

なお 本稿取材に当り 近くに  
お住いの三浦さん他の方がたのご  
協力をいただきました。

町文化財審議会委員  
小沢春光氏寄稿

小沢春光氏寄稿

## 【案内略図】

